

別府リハビリテーションセンター
障害者支援施設にじ 広報誌



特別編

2022.3

にじだより

NIJIDAYORI

「にじだより」が発刊され3年が経ちました。
多くの皆様と利用者さんの応援、ご協力のおかげと感謝
しております。

今回は、過去の「にじだより」から社会復帰を果たされた
方々の声を抜粋して特集でお届けします。



片麻痺でも出来るところを見せたい！



性別	男性	年代	40代	地域	大分
疾患	脳出血				
身体状況	右片麻痺				
高次脳機能障害	失語症、注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年半 【就労移行】なし				
就職先	就労継続支援B型				



入所された直後は涙されることも多く、最愛の奥様が大きな心の支えになっている様子でした。

徐々に笑顔を取り戻し、訓練にも積極的に取り組まれました。
「革工芸」訓練で制作した作品は、障害者の作品展に出品するほどの腕前になりました。

自動車訓練を経て運転も可能となり、退所後は趣味の革工芸をされたり、週末には奥様とのドライブを楽しまれたりしています。

障害を理解してもらった方が安心



性別	男性	年代	30代	地域	大分
疾患	クモ膜下出血				
身体状況	後遺症なし				
高次脳機能障害	失語症、注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年2ヶ月【就労移行】1ヵ月				
就職先	福祉用具会社（営業）				



高次脳機能障害という目に見えづらい障害に落ち込まれる時期もありました。「障害を隠して就職活動をしたい」と思われたこともありましたが、スタッフと話し合い“障害を理解してもらった上で就職した方が安心”と考えるようになりました。

就職面接では「病気をされた方の気持ちを実体験として理解できることは強力な長所」と言われたそうとても安心した表情をされていました。

このままではダメだ！



性別	男性	年代	30代	地域	大分
疾患	頸髄損傷				
身体状況	四肢麻痺				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】1年半		【就労移行】1年		
就職先	地方公務員				



病院で目を覚ますと、首から下が全く動きませんでした。退院する頃、リハビリをすれば治ると思っていたけど以前のような体に戻るのには難しいと理解したそうです。

にし入所当初は体力的にきつかったそうですが「全身のきつさやしびれなど体調が悪いのは当たり前。それをベースに体調管理をすることにした」そうです。言葉の通り、訓練は休むことなく参加されました。決して弱音を吐くことはありませんでした。

自動車訓練も実施、職場まで自動車通勤をされています。

やっぱり前職に戻りたい



性別	女性	年代	30代	地域	大分
疾患	脳出血				
身体状況	右片麻痺				
高次脳機能障害	失語症、注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年半 【就労移行】2年				
就職先	高齢者施設（介護業務補助）				



入所当初は失語症でコミュニケーションに大変苦勞されてい
ました。書字練習や発話練習、さらに体力づくりにも取り組
まれました。自立訓練が終了する頃、ご本人、ご家族から
「介護士として復歸できないものか」と相談がありました。

職場に相談、スタッフも一緒に職場訪問し打ち合わせをした
上で10日間実習しました。清掃、バイタル入力、配茶準備、
クリーニングの仕分け作業などを行い、仕事での課題と工夫
点や解決策を職場の方々と一緒に探っていました。

職場復歸を果たされ、上司や同僚の方と安心して働かれてい
ます。

失敗もたくさんしたけど 出来る仕事を増やしたい



性別	男性	年代	20代	地域	大分
疾患	脳炎				
身体状況	後遺症なし				
高次脳機能障害	記憶障害、注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年3カ月【就労移行】6カ月				
就職先	書店				



手足の麻痺はありませんでしたが記憶と注意の障害が残り、訓練では、メモリーノート練習やSSTを実施しました。また、障害者職業センターとも連携しご自身に得意・不得意な作業の整理を行ってもらいました。

書店で実習を行い、失敗を重ねながら職業センター（ジョブコーチ）と一緒に適した仕事内容を探りました。

現在は、バックヤードで本の検品作業やコミックの袋詰めを行い、充実した時間を過ごしています。

大好きなパソコンを使って



性別	男性	年代	40代	地域	大分
疾患	脳出血				
身体状況	左片麻痺				
高次脳機能障害	注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年半 【就労移行】10ヵ月				
就職先	Webデザイン会社（在宅ワーク）				



基礎体力をつけ、日常生活が自立。社会復帰を目指して就労移行支援の訓練を受けました。就職活動がうまくいかず、障害を持ちながらの就職の難しさを感じたようです。

もともと大好きだったパソコン作業でしたが、就職のために訓練でさらなる技術アップを図りました。そして特例子会社でパソコンを使った在宅ワークの就職が決まりました。

施設を退所する日に「好きなパソコンの訓練やにじでの毎日は楽しかった」とお話をされていました。

以前のようにはできないのはわかっている
でも働きたい…



性別	女性	年代	30代	地域	大分
疾患	クモ膜下出血				
身体状況	右片麻痺、杖歩行				
高次脳機能障害	注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年2ヵ月【就労移行】5ヵ月				
就職先	高齢者施設（介護業務補助）				



訓練では、歩行能力の向上や洗濯や掃除といった家事動作の練習、さらに自身の後遺症をうまく相手に伝える練習にも取り組みました。

方向性を模索している中、前職場から「またうちに来てほしい」と声がかかりました。「以前のように働けないのはわかっている、みんなの雑用係になれたら」との思いで、スタッフと一緒に職場訪問し本人の状態を伝えた上で、実習しご本人に適した仕事を探りました。

もともと自他ともに認める仕事大好き人間、職場の方々にも温かく迎え入れられ介護補助として勤務されています。

にじでの就労体験で違和感なく



性別	男性	年代	40代	地域	福岡
疾患	頸髄損傷				
身体状況	四肢麻痺				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】1年2ヵ月【就労移行】1年1ヵ月				
就職先	IT関連会社（パソコン業務）				



※写真はイメージです

にじでは、体力向上、身体機能の改善プログラムを受けていただきました。ご本人の努力もあり体の動きはかなり改善しました。

就労移行支援では、パソコンの資格を取得しましたが、就職活動がうまくいかず焦ることもあったようです。しかし、にじの仲間の存在もあり、常に前向きでした。

新しい会社はIT系で不安もあったようですが、訓練でデスクワークやパソコン業務を経験され、違和感なく働かれているとのこと。毎日充実した時間を送られています。

出来なくなったことを数えるよりも…



性別	女性	年代	50代	地域	大分
疾患	頸髄損傷				
身体状況	四肢麻痺				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】7ヶ月 【就労移行】9ヶ月				
就職先	障害者支援施設（就労支援）				



訓練の一つ一つがこれまでの日常とかけ離れていて「こんな事をしないといけないのか」とご自身への絶望感や今後への不安にさいなまれる日もあったようです。しかし努力している“仲間”の姿がモチベーションになりました。

機能訓練で一日動ける体力、不自由になった手足の能力を補う方法を身につけ、就労移行支援の実習では実社会のスピードや緊張感を味わうことができ、社会復帰への意欲が高まったとのこと。

「出来なくなったことを数えるようよりも、こんなに出来るようになったと自分を褒め前を向くようにしています」と笑顔でお話いただきました。

仲間は生涯の宝物



性別	男性	年代	30代	地域	福岡
疾患	脳梗塞				
身体状況	両下肢機能障害				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】1年半		【就労移行】1年		
就職先	営業				



「勤めていた会社に復職する！」という強い思いを持って訓練に取り組みました。

（ご本人より）

「訓練は、社会復帰を想定した実習からパソコンを使ったものまで多岐に渡るもので、動く、考える、共存するという、これからの社会生活において必要な事を学びました。何より訓練だけではなく、障がいと付き合いながら社会生活にチャレンジしようとして出会えた就労移行支援のメンバーは私の生涯の宝物です」

出来る事、出来ない事を 知ることが大切



性別	男性	年代	40代	地域	宮崎
疾患	脳梗塞				
身体状況	右片麻痺				
高次脳機能障害	注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年半 【就労移行】1年半				
就職先	医療機関（事務補助）				



見学で「同じような症状の方が多くいるここならやれる！」と入所を決めたそうです。

訓練では、大変なこともあったと思いますが、いつもにこやかに取り組まれていました。就労移行支援の訓練に移ってからは特にパソコン練習に熱心に取り組み、パソコン検定合格を目指す他利用者の姿が励みになりました。「一人では資格をとるまで頑張れなかったと思う」と当時のことを思い出されていました。

仕事を考えた時に、自分に出来る事、出来ないことを知ることが大切とお話いただきました。

あの頃、一人では出来なかった



性別	男性	年代	30代	地域	大分
疾患	脊髄梗塞				
身体状況	車椅子				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】1年半		【就労移行】1年8ヵ月		
就職先	電子部品会社（検品）				



病院にいた時は何もできなかったそうです。「にじで一通り訓練をしたのが役に立った！」とお話してくれました。体力向上、屋内外ともに車椅子駆動練習、さらに同時期に入所されていた方々と一緒にコンビニに行くことも大きな社会経験の一つだったようです。「一人だったら外出していなかった」と話されていました。

就職が決まり、職場近くのアパートで一人暮らしをすることとなります。スタッフや業者とトイレや浴室の改修を何度も打ち合わせをし、快適に生活されています。

集団訓練だからできることがある



性別	男性	年代	20代	地域	宮崎
疾患	胸髄脱臼骨折				
身体状況	車椅子				
高次脳機能障害	なし				
サービス利用期間	【機能】1年 【就労移行】7カ月				
就職先	電子部品会社（組立て）				



「元の職場でなくてもできる仕事をしたい」「自動車運転を再開したい」と施設入所を決めました。

病院でのマンツーマンのリハビリとは違い、社会生活を見据えたにじの集団訓練に当初は戸惑うこともあったそうです。徐々に慣れていき、集団訓練だからこそできる利用者間での悩みや目標の共有。“仲間”と車椅子でどんな仕事ができるのかとよく話をしていたそうです。

自動車訓練で運転も再開でき、休日にはドライブや障害者スポーツを楽しんでいます。

自分なりの創意工夫で



性別	女性	年代	50代	地域	大分
疾患	脳出血				
身体状況	左片麻痺				
高次脳機能障害	注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年 【就労移行】1年5ヵ月				
就職先	高齢者施設（介護業務補助）				



障害が残り、ほんの小さな動作でも以前のようにうまくいかず3倍の時間がかかっていました。スタッフのアドバイスを参考に創意工夫し少しずつうまくいくようになりました。

「仕事（介護職）は以前と同じようには出来ませんが、介護職員でなくとも出来る仕事は多々あるので、模索しながら今自分に出来る仕事を行っています」とお話されていました。

最近の楽しみは、簡単に出来る料理やスイーツ作りの動画を見て作ること、とても楽しく過ごされているそうです。

麻痺はあるけどこの体で生きていく



性別	男性	年代	40代	地域	大分
疾患	脳出血				
身体状況	右片麻痺				
高次脳機能障害	失語症、注意障害				
サービス利用期間	【機能】1年半 【就労移行】1年半				
就職先	障害者支援施設（訓練補助）				



麻痺は治らないんだと絶望し、こっそりと泣いたこともあるそうです。しかし、少しずつ麻痺はあるけどこの体で頑張っていこうと思えるようになり、“社会復帰”を目標ににじに入所されました。

訓練では、体力作り、歩行能力向上、パソコンの基本操作練習などに笑顔で熱心に取り組みられました。その姿をお手本にする利用者もいるほどでした。

仕事が始まった今も笑顔は健在です。「突然の病気で本当に悲しんだ時期もあったけど、働くことができるようになり充実した毎日です」とお話ししていただきました。